９　家庭

| 学校番号 | T2101 |
|---|---|

# 平成３１年度　家庭科

| 教科 | 家庭 | 科目 | （併）家庭基礎 | 単位数 | ２ | 年次 | １～４ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 家庭基礎　明日の生活を築く　（開隆堂） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |
| レポート | ６通 | | スクーリング | １６回（内２回は定期考査） | | | |

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に必要な基礎的な知識や技術について、レポート学習を中心とした授業をします。
〇人の一生で起こる様々な問題や課題を見通し、多様な考えを知り、自分なりに、自分のペースで考えを探すことのできるような学習をします。
〇学んだこと、考えたことを自分の生活に反映させ、よりよい生活をめざします。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住､消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに､実践的な態度を身に付けている。 | 人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。 | 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 | 人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的･基本的な知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 学習状況の観察<br>ノートやワークシートの記述<br>レポート､発表　等 | 学習状況の観察<br>ノートやワークシートの記述<br>レポート、発表<br>定期考査の結果　等 | 学習状況の観察<br>ノートやワークシートの記述<br>定期考査　等 | 学習状況の観察<br>ノートやワークシートの記述<br>レポート、発表<br>定期考査の結果<br>等 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 4月(10月) | 人生を見通し、共に生きる | ○青年期の自立と家族・家庭<br>・生涯発達の視点<br>・ライフステージ<br>・自立とは何か<br>・ジェンダー<br>・自分の性をみつめ、互いに尊重する関係<br>・アイデンティティ<br>・家族や家庭について<br>・意思決定について<br>・ワークライフバランス<br>・家族に関する法律<br>＊自分の価値観と仕事選び | ○ | ○ | ○ | ○ | a:青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。<br>c:事例研究などを通して、青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。<br>d:青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。 | 授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>定期考査 |
| | | ○次世代を育む<br>・子どもの心に寄り添う<br>・子どもに接するポイント<br>・子どもの身体の発達<br>・子どもの心の発達<br>・遊びの意義と発達<br>・子育て支援を考える<br>・虐待について<br><br>＊子どもとスマホについて考えよう | ○ | ○ | ○ | ○ | a:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。<br>c:子どもと適切に関わることができたり子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。<br>d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。 | 授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>定期考査 |
| 5月(11月) | 生活を営み、自立する | ○栄養と食事<br>・食の健康と課題<br>・BMI の計算<br>・フードファディズム<br>・PFC バランス<br>・食をめぐる社会的課題<br>・食の外部化社会化<br>・食と環境問題<br>・いろいろな食品群<br><br>＊食と環境「なぜ野菜が1年中スーパーに売っている？」 | ○ | ○<br><br>○ | | ○ | a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。<br>c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。<br>d:栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 | 授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6月(12月) | | テスト対策<br><br>中間考査 | | | | ○ | a:被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。<br>c:生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。<br>d:被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 | 授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>定期考査 |
| 6月(12月) | 生活を営み、自立する | ○食品と調理<br>・栄養素の働き<br>・五大栄養素<br>・加工食品の表示と添加物<br><br>＊食品表示を読み解こう | ○ | ○ | ○ | ○ | a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。<br>c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を食品表示の読み取りを通して身に付けている。<br>d:栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 | 授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>定期考査 |
| | | ○被服の管理と着装<br>・衣服の役割<br>・織物の成り立ち<br>・衣服の素材<br>・衣服の加工による性能<br>・衣服の選択と気候<br>・衣服の洗濯<br><br>＊界面活性剤のはたらき | ○ | ○ | ○ | ○ | a:被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。<br>c:生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。<br>d:被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 | 授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ○住まいについて<br>＊ホームプロジェクトの一環としての1人暮らしの部屋選び、あなたの大切な条件は？ダイヤモンドランキングで考えよう。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。<br>c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。<br>d:住居の機能と選択などについて理解し、安全で快適、な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 | 授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>定期考査 |
| 6月(12月) | 生活を営み、自立する | ○契約の重要性<br>・収入と支出<br>・家計のキャッシュレス化<br>・クレジットカードによる支払<br>○消費者の仕組み<br>・悪質商法<br>・消費者行政と消費者運動 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。<br>c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。<br>d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。 | 授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>定期考査 |
| | | ○ライフスタイルと環境<br>・持続可能な生活<br>・生活を見直す3R・5R | ○ | ○ | ○ | ○ | a:環境に配慮したライフスタイルに関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:環境に配慮したライフスタイルについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。<br>c:自分の生活を見直すことを通して、環境に配慮したライフスタイルを検討する技術を、身に付けている。<br>d：持続可能な社会の課題について科学的に理解し、環境に配慮された生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 | 授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>定期考査 |

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。